

# 合同常任委員会

## 「開かれた議会へ一歩」

定例会4日目、総務、文教厚生、経済建設常任委員会の合同委員会を開催。希望者は、前回に引き続き、活発な質疑の様子を傍聴された。

### 小・中学校設置条例の一部を改正する条例について

(荒牧議員)

新小学校の名称が南阿蘇西小学校と決定した。長陽の名が付かないのは残念。経緯について説明を。

(教育委員会事務局長)

昨年12月に統合準備委員会を設置。そ



合同常任委員会 (傍聴席から)

の中の総務部会で公募を長陽中学校区で行い応募総数56件、36種類あった。部会で3案が決定。長陽小、長陽中央小、南阿蘇西小の3つに絞られ、再度、投票し、南阿蘇西小学校が多数だった。

(大塚議員)

今回、南阿蘇西小学校と校名が決まれば、例えば白水が統合した場合、南阿蘇東小学校となるのではないかと。そういう固有名詞が出た場合は、違和感を覚える。

(飛瀬議員)

来春開校にもっていくなら、跡地の利用、これらの検討を既に始めておくべきではないかと。開校してからで間に合うか。普通、閉校するとなればいろいろな委員会と共に、跡地の利用部会もスタートすべき。早速跡地利用を考えるなり、候補を探すなり、十分に智慧をしばるべきではないかと考える。

(教育委員会事務局長)

早急に行うべき事項としては、校名、校歌、校章といった部分が早急に行う部分。跡地についても確かに検討していかなくてはならない。跡地の検討も総務課に委ねられると思うので、早急に協議しながら決めていきたい。

(長野村長)

跡地については実際には本当に早く検討を進めたいという気持ちはいっぱいある。十分納得がいくような形での政策を進めたい。

### 23年度一般会計補正予算の議決について

(企画観光課長)

補正の中で、新駅設置の予算要望を行っている。※白川水源駅(仮称)新駅設置に伴う経過と概要について担当から説明。

(北野議員)

プラットホーム、線路の改良は南阿蘇鉄道からすると財産の一つになる。財産取得は基金の方から払われるという条文がある。これから南阿蘇鉄道に引き渡す時に南阿蘇鉄道は財産取得で5億6千万円の基金から南阿蘇村にいただけるようにならないか。

(企画観光課長補佐)

財産の取得ではなく、南阿蘇村の方で建設し、南阿蘇鉄道に無償貸与という方向で今考えている。

(飛瀬議員)

立野駅の現状だが、新幹線の全面開通等に伴いあそBOYや南阿蘇鉄道に乗る人の増加が予想される。団



立野駅周辺